



2025年11月10日

各 位

会 社 名 イ ノ テ ッ ク 株 式 会 社

代表者名 代表取締役 社長執行役員 大塚 信行  
(コード: 9880 東証プライム)

問合せ先 経営企画部長 三上 孝明  
(TEL: 045-474-9000)

## 業績予想の修正及び営業外費用(為替差損)の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向などを踏まえ、2025年5月13日に公表した2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の業績予想を以下のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、当第2四半期連結会計期間（2025年7月1日～2025年9月30日）において、営業外費用（為替差損）を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

単位：百万円

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	43,500	2,600	2,600	1,700	129.62
今回修正予想（B）	45,500	2,750	2,400	1,800	137.15
増 減 額（B - A）	2,000	150	-200	100	-
増 減 率（%）	4.6%	5.8%	-7.7%	5.9%	-
（参考）前期連結実績 (2025年3月期)	41,977	1,887	1,754	1,200	89.54

### 2. 修正の理由

上期は、半導体設計関連事業及びシステム・サービス事業が概ね堅調に推移したことに加え、テストソリューション事業において、主に海外向けメモリーテスターの新製品販売が増加しました。下期もテスターの海外向け販売が継続する見込みであることや、プローブカード事業で収益性が改善していることなどから、通期の売上高及び営業利益は前回予想を上回る見通しです。一方、子会社 STAR Technologies, Inc. において、上期に想定を上回る為替差損を計上したため、経常利益は前回予想を下回る見通しです。また、親会社株主に帰属する当期純利益については、政策保有株式の売却による特別利益の計上が寄与し、前回予想を上回る見通しとなりましたので、業績予想を修正するものであります。なお、本社ビル売却については検討中であり、その影響は本修正に反映されておりません。売却の詳細が確定し、今期業績に影響があると算定された場合には、改めて公表する予定であります。

### 3. 営業外費用の内容

当第2四半期連結会計期間における為替相場の変動により、為替差損を582百万円計上いたしました。これは主に、子会社のSTAr Technologies, Inc が保有する外貨建債権・債務の評価等により発生したものであり、今後の為替相場の動向により変動いたします。

なお、第1四半期連結会計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）において、265百万円の為替差益を計上しているため、当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）における為替差損は316百万円となります。

以上